

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防訓練は年に2回併設診療所と行っているが実践力に乏しい。また業務継続計画を作成しているが、職員間の情報共有及び備蓄品が不足している。	職員間で災害時の話し合いを行い、シミュレーションを行うとともに、グループホーム独自の自主的な避難訓練を取り入れる。また業務継続計画の情報共有及び備蓄品を補充し、有事に備えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングにおいて避難経路、手順、必要物品など話し合いシミュレーションを行う。 ・消防機器・設備についての勉強会を行い、シミュレーションを行う。 ・業務継続計画を用いて、説明会及びシミュレーションを開催する。 ・備蓄品の確認、準備 	12ヶ月
2	20	新型コロナ感染予防対策として、ビニールシート越しでご本人とご家族等との面会を実施しているが、コロナ禍前のような直接の面会が出来ていない。	感染対策を行いながら、ご本人とご家族等が触れ合える。	感染状況を見ながら、当法人感染対策室の方針に合わせ、ご本人ご家族等と普通の面会ができるよう、随時面会方法を変更していく。	12ヶ月
3	49	感染予防対策の為 外出活動は人との対面を避けた外出となっている。	買い物や外食に出掛けられるようにする。	感染状況を見ながら、法人の感染対策室及びご家族に了承を得、感染対策を実施したうえで外出する。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。